

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。

## 子育てのまち 「せたがや」へ さらなる前進を



### 前進① 保育士確保のための家賃助成を 既存園・保育室等にも拡充へ！

世田谷区の今年の保育待機児童は1182人と、全国ワースト1の状態が続いています。区の今年の保育施設整備目標は約2千人ですが、来年4月の見込みは現在1200人となっています。区議団は目標の確実な達成を強く求めました。また、保育施設の整備とともに保育士の確保が大きな課題です。日本共産党は、保育目標達成のために保育士があと約1000人必要であることを明らかにし、保育士確保の対策を求めてきました。

区は保育士確保策として、これまで新設園に限定されてきた保育士等一人につき8万2千円の宿舍借り上げ支援制度（家賃補助）を既存園等にも広げました。

### 保護者・区民の運動で、 保育室にも家賃助成が実現！

当初区からの提案では、家賃補助対象外であった「保育室」。保護者からは「同じ世田谷の子どもなのに、施設の違いで差が生じるのはおかしい。」「保育室の先生にも家賃補助を！」と、署名運動が取り組まれ、区長・区議会各会派への要請行動等も行われました。

日本共産党をはじめ多くの会派から「保育室を家賃補助対象に加えるべき」と質問があり、区は保育室等の家賃助成を実施すると決断。保護者・区民の運動が大きく実りました。

### 前進② 病児保育所を増やしてほしい！ 区の「病児保育施設拡充方針」見直しへ

「子どもが病気のと看くらい仕事を休んで看病したい……」親だったら誰しもが思うことですが、現状は仕事をどうしても休むことができないことがあります。看護師・保育士による手厚い保育を受けられる「病児・病後児保育施設」は働く親にとって、大切なセーフティネットです。

現在、区内の病児・病後児保育所は9箇所、定員58名。しかし、「感染症が流行る時期等は、予約が取れない」との声が多く寄せられています。一般質問で江口区議は、「区が今議会に提案した『病児保育施設拡充方針』では今後28名の定員増しかなく不十分」と指摘し、拡充を求めました。区は「来年度、見直しを行う」と答弁しました。

### 戦争法案（安保法制）反対！！

区内各地でピースパレード  
3面をお読み下さい。



三茶ピースパレード



江口じゅん子

## 外環道工事予定地から発掘された「<sup>とのやまおうけつぼくん</sup>殿山横穴墓群」の保存を求めました

外環道工事により、6～7世紀頃の「横穴墓」が17基発見されました。世田谷の古墳時代を後世に伝える郷土史の貴重な宝であり、地元では保存を求める運動が起きています。私は区長に対して、国等に保存を要望することを求めました。区長からは「保存を申し入れた」等と答弁がありました。

## 砧・大蔵地域などの「公共交通不便地域」にミニバス導入を！

砧・大蔵地域の住民団体が地域で「ミニバス導入について」のアンケート活動を実施。私はこのアンケートを紹介し、区長に「ワンボックスタイプの小型車両等、さまざまな手段の検証をすすめること、採算性の解決のために、区として公費負担について検討すること」を求めました。区長からは「新たな発想で取り組む」等前向きな答弁がありました。



桜井みのる

## 環境配慮型住宅リノベーション事業に太陽光発電システム設置を加えよ

わが党は、環境配慮型住宅リノベーション事業を区の経済対策と位置づけ、使いやすくし、利用件数を引き上げるよう求めてきました。また、CO<sub>2</sub>削減のために、太陽光発電の普及推進を求めてきました。太陽光発電システム設置を環境配慮型住宅リノベーション事業の補助対象工事に加え、事業の利用件数を増やすよう求めました。

## 下馬二丁都営団地周辺の地区計画は住民の意見を聞き、ていねいに行え

この地区計画は2010年度から住民の議論が行われてきました。今年3月に地区計画素案説明会が行われましたが、住民からは建物高さを低くしてほしいとの意見が出されています。地区計画に住民の意見を取り入れるよう求めました。



たかじょう訓子

## 点字ブロック補修の仕組みを作れ

視覚障害者のみなさんと千歳烏山駅周辺のウォッチングを実施しました。点字ブロックの劣化による破損が放置されており、直ちに補修を実施することを求めるとともに、早期発見し補修を行う仕組みを作ることを求めました。区は、車でのパトロールに加え徒歩での確認も行うなど工夫していくと答弁しました。

## 小中学校で35人学級の拡充を

現在、小学校1、2年生で35人学級が実施されていますが、3年生になるときに40人学級に変わります。1日も早い全学年での35人学級の実施を国に求めるべきと訴えました。3、4年生の35人以上の学級に講師を配置するよう求めました。



中里光夫

## 公共図書館の役割を守れ！ 民営化ガイドラインの確立を

区立図書館に指定管理者を導入できるようにする条例が自民、公明などの賛成で可決されました。日本共産党は反対しました。ツタヤを指定管理者とした武雄市立図書館では、関連会社から10年前の実用書などの中古本を大量購入したり、貴重な郷土資料を廃棄したことなどが問題となっています。公共図書館としての役割を守るために民営化ガイドラインを作ることを求めました。

## 「らぶらす」の移転計画は利用団体に説明し話し合いを

北沢タウンホール内にある男女共同参画センター「らぶらす」の移転計画が、利用者に一切説明なく進められようとしていました。「らぶらす」の利用者は334団体、9万人にも及びます。区は利用者からの訴えで説明会を開くことにしました。利用団体に説明し、話し合いの場を設け、合意抜きでの移転を進めないよう求めました。



村田義則

## 地域包括ケアで住民の個別支援にとりくめ

高齢者、障害者、子育てなど住民の福祉の相談を身近な出張所、まちづくりセンターで行なう「地域包括ケア」が来年の7月から全地区で開始されます。日本共産党は、まちづくりセンターでは「相談」とともに必要な手続きや支援も行なうよう提案、そのための体制の整備を求めました。区は「社会福祉協議会が担えるように指導する」と答弁しました。

## 公契約条例の実効性の担保を

公契約条例は、公共工事・公共サービスなどにかかわる労働者の労働環境の改善と良質な公共サービスの確保を目的に制定されました。労働報酬下限額の早急な制定と実効性の担保を求めました。

## 小規模特養ホーム整備に都の補助を行なえ

定員29人以下の小規模特養ホームは、土地の確保について課題がありすんでいません。現在、大規模特養ホーム整備には都の補助がありますが、小規模特養ホーム整備にはありません。そのため小規模特養ホーム整備は、各区で補助を行っています。

住みなれた地域で住み続けられるように、小規模特養ホーム整備を進めるために、私は都議会第3回定例会で、「小規模特養ホーム整備にも都の補助を行なえ」と質問しました。



都議会議員  
里吉ゆみ

# 第3回区議会定例会 保坂区政2期目の 予算編成が焦点に

## 代表質問をした桜井みのる区議に聞く



(代表質問をする桜井みのる区議)

**Q** 第3回定例会が終わりましたが、どんな区議会だったのでしょうか。

**A** 今議会では、国会で強行採決された戦争法案に区議会としてどうのぞむかが問われました。また、保坂区政2期目の最初の予算となる28年度予算について各党から意見、要望が出されました。

**Q** 戦争法案についてどういう議論がされたのでしょうか。

**A** わが党は、代表質問で区長に対し戦争法案廃案を求める運動との共同に努力するよう求めました。また、超党派の区議会議員で政府などに対して「安保法制の強行採決に抗議し、今国会で成立した安保関連法の廃止を求める意見書」を提案しました。党派を超えた共同が世田谷でも広がりました。

**Q** 28年度予算についてどんな提案を行ったのですか。

**A** わが党は、不要不急の大型道路整備などを見直し、くらし・福祉を最優先にする区政を前進させることを求めました。

自民党区政時代に「行革」によって切りすたられた福祉や区民サービスをもとに戻すことを求めました。区は、特定検診、がん検診を来年4月から「住民税非課税世帯への無料化をすすめる」と答弁しました。

また、区内で60キロメートルにもおよぶ都市計画道路の未

着手路線の見直し、廃止を求めました。区は「区内の道路整備の水準は低く…整備をすすめる」との答弁に終始しました。

### 区立図書館への指定管理者導入に反対

**Q** 区立図書館の民営化が狙われていますがどうでしょうか。

**A** 今議会でも区立図書館への指定管理者の導入ができる条例が提案されました。たいへん重大です。わが党は条例に反対するとともに、図書館の質を守るガイドラインをつくるよう求めました。

### 「新しい総合事業」でサービス低下をさせない

**Q** 来年4月から要支援1、2の方の「新しい総合事業」が始まるそうですが、どのような内容ですか。

**A** 新しい介護予防・日常生活支援総合事業は、給付抑制を目的に要支援1、2の方の介護サービスを保険給付から外し、低廉なサービスに置き換えていくものです。そのため、施設への送迎も、入浴サービスも利用できない人が出てくる危険があります。また、サービスの担い手であるヘルパーが確保できない事業所も出てくる場合があります。

わが党は、介護サービスを低下させず、安心して利用できるよう求めました。

## 戦争法廃止の国民連合政府実現へ 地域でも・区議会でも 共同広がる

国会前や全国で広がった戦争法反対のデモや集会。世田谷区内でも、750人が集まり、区役所から三軒茶屋までパレードした区民集会、区内あちこちの商店街で行われた100人から200人のピースパレード、憲法カフェや学習会など地域での運動が党派を超えて広がっています。

区議会では、国会での強行採決を受け、9月30日の区議会本会議に「安保法制の強行採決に抗議し、今国会で成立した安保関連法の廃止を求める意見書」を共産、民主、社民、維新、行革、生活者ネット、無所属の共同で提案しました。提案した各党派が賛成討論を行いました。賛成少数で否決されましたが、区議会でも共同が広がっています。



烏山ピースパレード



シモキタピースデモ

## 炉室内のダイオキシン漏れで 昨年11月から操業停止

世田谷清掃工場（砧公園隣り）は、昨年10月に炉室内のダイオキシン漏れが起り、現在まで1年近く操業を停止しています。この間、ダイオキシン漏れ対策工事を行っていますが解決されていません。

ダイオキシンは環境中に漏れていないといいますが、住民の不安はひろがっており、わが党はただちに説明会を行うよう求めました。

### 操業停止で4億円を超える区負担

昨年操業停止して以降、区内で収集した可燃ごみは他区の清掃工場まで運んでおり、その費用として区は新たに2億5000万円の補正予算を今議会で組みました。また、過去5年間に操業停止による同様な収集運搬経費の増大が2億3500万円となっています。故障による区の負担は、4億円を超えています。

### ガス化溶融炉はただちに廃止を

わが党は技術的に未完成であるガス化溶融炉を世田谷清掃工場に導入することに反対してきました。今議会でガス化溶融炉として稼働した2008年から今日まで、相次ぐ故障による清掃工場の稼働停止状況を質し、ガス化溶融炉はただちに廃止せよと求めました。

故障で稼働停止した日数				
年度	08年	09年	10年	11年
故障休炉日数	110日	60日	95日	70日
年度	12年	13年	14年	
故障休炉日数	100日	45日	190日	

世田谷清掃工場の年間計画稼働日数は、定期点検日を除いて290日としていますが、「表」のように故障による炉の停止日数が多く、ガス化溶融炉として稼働した2008年から計画稼働日数を確保できた年はありません。

### 小規模特養ホーム 見学会報告

### 「こぶし園」を訪問して

区議会議員  
たかじょう訓子

党区議団は、8月26、27日に、地域の皆さんと新潟県長岡市にある高齢者総合ケアセンター「こぶし園」を訪問しました。

老後を、自分らしく生きるために必要なサービスは何か、に伝えてきた施設で、私たちが目指すのは、このように地域の施設で、つながり、支え合う社会であると心の底から思いました。

「こぶし園」の施設の一つである「サポートセンター 撮田屋」は、それぞれの居室に外から出入りできる玄関が設置されており、施設のエントランスを通らなくても、家族や友人がいつでも訪問できます。また、子どもたちが遊べるキッズコーナーもあり、子どもたちが気軽に立ち寄ります。ちょうど訪問していた時にも、子ども達が走って施設内に入って行くところを見ることができました。

わが党は、世田谷区で出張所、まちづくりセンターごとに27箇所、小規模特養ホーム、小規模多機能型居宅介護の整備を求めてきました。介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるために、皆さんと一緒に全力を尽くします。



テラス側の入口から見たサポートセンター撮田屋



地域のみなさんが集える場所

### 区の小規模特養ホームの整備計画

地域	整備予定年度	施設内容
成城3丁目2番(区有地)	29年	小規模特養ホームと保育園などの合築
上北沢1丁目32番(都営団地跡地)	29年	小規模特養ホーム、保育園など
下馬2丁目25番(国家公務員宿舎跡地)	30年	小規模特養ホーム、小規模多機能型居宅介護、認知症グループホーム